

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【公開番号】特開2015-6753(P2015-6753A)

【公開日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2015-003

【出願番号】特願2013-132384(P2013-132384)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/525 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/00 B

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

H 0 4 N 1/46 Z

H 0 4 N 1/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月7日(2016.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被印刷媒体に印刷を行った後に貼り合わせられる被接着媒体の色情報に基づいて、前記印刷用の印刷データを補正することを特徴とする印刷用データの補正方法。

【請求項2】

請求項1に記載の印刷用データの補正方法において、

前記色情報を前記被接着媒体の製造ロット毎に測定し、測定された前記被接着媒体の色情報に基づいて前記印刷用データを補正することを特徴とする印刷用データの補正方法。

【請求項3】

請求項1または2に記載の印刷用データの補正方法において、

前記色情報は、前記被接着媒体の前記被印刷媒体が貼り合わせられる面の反射色情報であることを特徴とする印刷用データの補正方法。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか一項に記載の印刷用データの補正方法において、

前記印刷用データは前記被接着媒体の色情報の基準値に基づいて作成されており、

前記被印刷媒体に印刷を行った後に貼り合わせられる被接着媒体の色情報と前記基準値との差に基づいて前記印刷用データを補正することを特徴とする印刷用データの補正方法。

。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

[適用例2] 上記適用例に記載の印刷用データの補正方法において、前記色情報を前記被接着部材の製造ロット毎に測定し、測定された前記被接着媒体の色情報に基づいて前記印刷用データを補正することが好ましい。